

令和 6(2024)年度
第2回周南市総合戦略会議
議事要旨

日 時:令和6(2024)年6月11日(火)13時30分から
場 所:周南市役所 本庁舎4階 庁議室

【会 議 次 第】

1 開 会

2 企画部長あいさつ

3 委員の紹介

4 会長及び副会長の選出

5 議 事

(1)まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要及び評価方法について

(2)まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する評価について

6 閉会

《 配付資料 》

- ・ 会議次第
- ・ 委員名簿
- ・ 配席表
- ・ 総合戦略に関する評価
- ・ 戦略会議の意見と市の考え方
- ・ 令和6年度(令和5年度事業)第2期周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する評価
(案)

第2回周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議 会議録

日 時 令和6(2024)年6月11日(火) 13時30分から
場 所 周南市役所 本庁舎4階 庁議室
出席者 ・委員8名
江波 昭政、片山 恵子、山田 みゆき、原田 直哉、河野 拓也、榊原 弘之、
澤田 かおり、中村 美代子
・事務局6名、各事業担当者
企画部長 川口 洋司、企画部次長兼企画課長 行富 広康、
課長補佐 有福 康城、担当主査 今井 努、
主査 藤原 隆宏、副主任 栢 理沙子
各事業担当者
資 料 ・会議次第のとおり
備 考 第1回会議は書面開催とし、戦略会議としての意見を書面で集約
意見に対して担当部局が市の考え方を整理・共有した上で第2回会議を開催

会議議事録

1 開会

◇事務局 皆様こんにちは。定刻となりましたので、ただいまから令和6年度第2回周南市総合戦略会議を開催いたします。本日は、お忙しい中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。本日の進行を務めさせていただきます企画課の藤原と申します。どうぞよろしくお願いいたします。会議に先立ちまして企画部長川口洋司がご挨拶を申し上げます。

2 企画部長挨拶

◇事務局 (企画部長あいさつ)

3 委員の紹介

◇事務局 続きまして、委員の紹介に移ります。時間の関係もございますので、座席順に事務局から委員の皆様をご紹介します。（委員の紹介）

◇事務局 次に、事務局の紹介に移ります。（事務局の紹介）

4 会長及び副会長の選出

◇事務局 続きまして、会長および副会長の選出に入ります。周南市総合戦略会議設置要綱第5条で「戦略会議に会長および副会長各1名を置き、委員の互選により定める。」とされております。皆様の互選により、会長・副会長を選出したいと存じます。どなたかご意見はございますか。

●委員 (意見なし)

◇事務局 ご意見がないようでしたら、事務局から提案をさせていただいてよろしいでしょうか。

●委員 (意義なし)

◇事務局 昨年度の本会議で、会長・副会長をお引き受けいただきました、榊原委員に会長を、河野委員に副会長を引き続きお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。ご異議がなければ拍手をもってご承認をお願いします。

●委員 (拍手承認)

◇事務局 ありがとうございます。委員の皆様のご承認により、会長に榊原委員、副会長には、河野委員が選出されました。榊原会長、河野副会長におかれましては、前の席にご移動をお願いします。

(会長・副会長移動)

◇事務局 ここで会長、副会長より一言ずつご挨拶をお願いします。

(会長・副会長挨拶)

◇事務局 ありがとうございます。それでは、議事に移ります。これ以降の進行につきましては、設置要綱第6条の規定により、会長が議長を務めることとなっておりますので、榊原会長どうぞよろしくお願いします。

5 議事:(1)まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要及び評価方法について

◎会長 それでは規定により、議事を進めさせていただきます。議事進行につきましてご協力お願いいたします。まず1つ目の議事ですけれども、第2期周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要および評価方法について、事務局からご説明をお願いいたします。

◇事務局 (資料を基に説明)

◎会長 ただいまのご説明につきまして何かご質問ございますでしょうか。

●委員 (質問なし)

5 議事:(2)まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する評価について

◎会長 それでは2つ目の議事の総合戦略に関する具体的な評価に入ります。

資料の4ページ目をご覧ください。まず、「基本目標1 雇用を確保し、安定して働くことができるまちづくり」の中の「推進施策(1) 産業基盤強化の促進」につきまして、事務局からご説明をお願いいたします。

◇事務局 ～基本目標1・推進施策(1)について説明～

◎会長 こちらにつきまして、主に港湾の話になりますが皆様の方で何かご意見等ございますでしょうか。

こちらについては私も港湾関係の審議に入らせていただきましたけど、当初戦略バルクということでしたが、昨今ですと、脱炭素化の計画というものも徳山下松港で策定されるなど、県内の中では先行している港湾だと理解しております。そういったところが市の考えのところにも書かれているように思いますけれども、こちらはよろしいでしょうか。

●委員 (意見なし)

◎会長 あまり焦ってもいけないですが、結構項目が多いので、もし、ご指摘がなければ、次に進もうと思いますが、もし何かあればこのタイミングでお願いいたします。

 こちらについては、国の事業にも乗った形で徳山下松港の整備を進められていると思います。なかなか周南市でできる部分も少ないと思いますが、今のところそういった国の政策に沿った形の方向の整備が行われると思いますので、引き続きそういった方向でお進めいただければと思います。

 では、こちらは以上とさせていただきます。ありがとうございました。

◎会長 それでは6ページですね、「推進施策（２）企業立地の促進」ということでこちらをお願いいたします。

◇事務局 ～基本目標１・推進施策（２）について説明～

◎会長 どうもありがとうございました。こちらの企業立地の件につきましては、皆様の方から３件ですかね。事前にご意見をいただいていると思います。

 例えばリモートワークといったことに対する対応のことであるとか、色々な金融機関との連携の話であるとか、コンビニート電力の利活用に関してのご質問ご意見をいただいて、そこに対して、市からも考え方を示しているところかと思いますが、これらのご質問ご意見をいただいた委員あるいはそのほかの委員の皆様も含めて、何かご質問等ございましたら、お願いいたします。

●委員 はい。質問の１番のところですけど、リモートワークとかですね、製造業を中心として既存事業所等の事業拡大を図るとか、市外からの企業進出を促進するというのももちろんその通りなんですけれども、ここが一番難しいところだと思うんですが、やはり強みに特化した施策というかやっぱりそういうものを１つは目玉のようなものがないと。

 やっぱりよそと同じことしてたら勝てないという風に思いますので、次期に向けては、これをやったら必ずできるというものではないと思うんですけど、そうはいつでも、何か強力に進めるものというものを入れるべきではないかなという風に考えています。以上です。

◇担当課 委員がおっしゃるとおり、やはり２番目の答えとも絡んでくるんですけども、やはり周南市の強みというのはコンビニートを中心とした製造業でもありますし、昨年１２月に改正しました企業立地促進条例等の企業立地に係る支援の方も手厚くしておりますので、そういったハードの面、それから今度はこれも２番目の方に絡みますが、企業のお話を聴くにあたっては、やはり徳山駅というのが交通結節点として非常にうまく機能しているというところもありますので、その辺も含めてアピールしていきながら、強みであると

ころを活かした形で企業立地を進めていきたいと思っております。ありがとうございました。

◎会長 はい。ありがとうございます。今、徳山駅の駅前再開発も含めて、色々そういった部分は比較的県内都市の中でも先行していると思っています。そういったところが、もし経済面、あるいは企業誘致のところにも反映してくるんだとしたらとてもいいことだと思うので、ぜひ、次期計画でもそういった方向で考えていただければと思います。

 その他はよろしいですか。はい。お願いします。

●委員 2番目の質問は、市のお答えの中に、「市内に本支店のある金融機関に対しては」ということでいただいております、もちろん、大事なと思うんですけれども、例えば、本社機能が移転するということであれば、県外からというのが考えられると思うんですけれども、例えば市内にある本社金融機関以外のところ、県外の金融機関とかとの連携とか周知とかってというのはお考えにはなされていないということですか。

◇担当課 貴重なご意見ありがとうございます。おっしゃられるとおりであると思っております。現状は、市内に本・支店のある金融機関さんへの周知活動等を行っておるところではございますけれども、市としても、もっと裾野を広げ、そういったPRも視野に入れて活動していければと思っています。

◎会長 はい、ご意見ありがとうございます。では、よろしいでしょうか。

 では、こちらは以上とさせていただきます。ありがとうございました。

◎会長 それでは8ページですね、「推進施策（3）新事業・新産業・新エネルギーの創出」ということでこちらをお願いいたします。

◇事務局 ～基本目標1・推進施策（3）について説明～

◎会長 皆様の方からは3件。1つは新事業・新産業はどういう事例ですかということで、令和5年度は医療関係で2例あったというようなご回答がありました。それから、機運醸成事業、これは学校でやっている事業だったと思いますけれども、回答で具体的な内容についてご説明をいただいていると思います。3つ目は、項目構成に関するご意見で、そのあたりは次期計画の中で整理していただければよろしいのかなと思います。

 では、こちらにつきまして何かご質問ご意見等ございますでしょうか。

◎会長 はい、お願いします。

○副会長 ここにある質問とは別ですけれども、今、アンモニアを使ったコンビナートの活用だとかあると思うのですが、新エネルギー等は今回のKPIには盛り込まれることはないですけれども、今後、アンモニアであったり新たな新エネルギーについての展開等があれば、ご意見をお聞かせいただきたい。

◇担当課 そうですね、今コンビナートでは、2050年のカーボンニュートラルに向けて、先般コンビナートの脱炭素推進協議会をつくって、企業と化学工学会と一緒に市も検討を進めているところです。

その協議会の中では、もちろん石炭にアンモニアを混焼していこうという動きもありますし、他にも廃棄物や二酸化炭素だったり、アンモニアはエネルギーに入りますけど様々なチームを構成して、具体的な取組、実装に向けて協議をしております、その積み重ねでカーボンニュートラルを達成していこうということで取り組んでいるところです。

○副会長 ありがとうございます。徳山高専の学生も勉強させていただいている案件で、コンビナートの利活用といいますか、周南市の可能性を大きく感じますし、学生共々、期待している事業になるので、ぜひ市民の皆様にも、情報発信していただけたらいいかなと思いました。以上です。

◎会長 ありがとうございます。この辺は、港湾のところとかかわってくると思いますが、自分の理解だと、脱炭素化に関してのシナリオとして、まず、やはりすぐに取り組めるのがバイオマスです。次の展開としてはアンモニア・水素で、ちょっと時間差をおいて実現していくのかなというイメージを持っていて、そういったところと次期総合計画のタイムスパンとの兼ね合いはあるかもしれないですけども、やはり次期総合計画の期限のその先も見据えたような形で次期計画の中で議論できると良いと感じました。ありがとうございます。その他何かございますでしょうか。

●委員 はい。K P Iの2つ目ですが、創業支援協議会の支援を受けた者のうち、創業者件数、実績はすこぶる好調というか素晴らしい結果になっていると思いますが、それがイコールまちの状態として見えているか、感じられるか。実感とまちの現在の状況と乖離があるのではないかなと思います。その辺り、いかがでしょう。

◇担当課 今、委員の方からありました創業の件につきまして、コロナが明け、創業のケースもいづらか増えているというようなことは協議会の構成員の方からお聞きしております。実績としまして、今回のこのK P Iに掲げております。新規創業者の数字でしか見ることはできませんけど、年々、実績も上がっているということで、効果も出てきていると認識しております。以上です。

●委員 これについては、今おっしゃった通りの評価ができるだろうと思います。だから、自分が思うのは、次期の話になるかもしれませんが、このK P I自体が、計画と結果は数字的には素晴らしくても、それが実態といいますか、目指すものをクリアできるかどうかというところですね。少し難しい部

分ではありますけど、整合性が必要ではないかなと感じたところです。以上です。

◎会長 例えば、基本目標 1 の中の話をしているので、個々の K P I としては割とおおむね達成されていますが、全体としての数値目標 3 ページの方の市内就業者数に関して言うと、ちょっと徐々に減少しているような形になっているとか、その辺りが、ある意味、委員がおっしゃったような部分に関係してくるのかなと思います。個別の K P I が大きな目標のところに結び付きづらいことは、よくあることのようにも思いますけれども、その辺りはあまり望ましいことではないと思うので、次期計画の中での組立ての中にその辺りも色々考えていけると良いのではないかと考えています。

 ありがとうございます。それでは、こちらについては以上とさせていただきます。よろしいでしょうか。どうもありがとうございました。

◎会長 それでは 10 ページですね、「推進施策（4）稼げる農林水産業の構築」ということでこちらをお願いいたします。

◇事務局 ～基本目標 1・推進施策（4）について説明～

◎会長 はい。どうもありがとうございました。こちらについては 4 件。しゅうなんブランドおよび地産地消推進店の認知度向上に関してのご質問と 6 次産業化は目標達成されているけれども新規就業者の方は未達であるというようなところは目標の見直しが必要じゃないかというようなご意見。関連しているかもしれませんが、漁業者の安定した経営というのはどういった状況かというような、あと、農林業従事者の生活が厳しいというようなことについてのご意見をいただいているということかと思いますがそれに対して市のお考えも示していただいていると思います。こちらにつきまして、ご質問ご意見等ありましたらよろしくをお願いいたします。

 農林水産業は、元々、後継者確保等の部分も含めて厳しいと思いますが、そういった中で、市として色々とできることをしていただいているということだとは思いますが、なかなか目標によっては十分達成できていないものもあるという状況だと思いますけれども、よろしいでしょうか。

 ご意見は色々委員の方から出ていますが、特にやはりどうしても K P I、なかなか漁業就業者を増やすというのは実際難しいところだとは思いますが。やはり今回、達成は難しそうな状況がある中で、次期計画の中でどういった目標設定が良いかといったところについては、また次の計画策定の中で担当課におかれてもご検討いただければと思います。それでは、よろしいですか。では、以上とさせていただきます。どうもありがとうございました。

◎会長 それでは 12 ページですね、「推進施策（5）雇用の充実」ということでこちらをお願いいたします。

◇事務局 ～基本目標１・推進施策（５）について説明～

◎会長 はい。どうもありがとうございます。こちらについて３件、ご意見をいただいています。１つ目、動画が実際に求職者に観られているのかどうかというところで、再生回数あるいはネットチャンネル登録者数などの実績についてご回答いただいております。それから、利用状況を検証するための指標ということで、現在、ＫＰＩはないですが、上で書いていただいているようなそういうところが１つの目安ではないかと考えているということです。ＫＰＩにつきましては、新規就業者の雇用のマッチング事業に関連した新規就業者数というものについては概ね達成できているようです。若者の定着ということで、周南公立大学の取組についてご回答をいただいております。こちらにつきまして、委員の皆様から何かご意見等ございますでしょうか。お願いいたします。

●委員 周南シゴト動画の運営の件でお伺いしたいのですが、周南市についてはＢｔｏＢ企業が多いので、こういった取組は大変重要な取組だという認識しております。その中でご回答いただいております利用の統計ですが、この中で、就職に繋がった実績として６社２１人とご回答いただいておりますが、どのような形で集計されて出た数字なののでしょうか。

◇担当課 お答えいたします。本事業は業務委託という形で市内の事業者へ委託しております。その仕様書の中で、就労に繋がった件数の報告を挙げておりまして、事業者の方から件数を問い合わせ、集計をした数字になっております。以上です。

●委員 ありがとうございます。もっと数字が大きいのかなと思ったんですね。実際にそういった形の報告で繋がったものということなんでしょうけれども、間接的にご利用になられ、就職に繋がったケースもたくさんあると思うので、この数字だけだと、効果が薄いみたいな見方をされるのかなと思ひまして、もっと効果があることをＰＲできるのかなと思いますので質問させていただきました。ありがとうございます。

◎会長 はい。どうもありがとうございます。その他いかがでしょうか。

ちょっとすいません。原田委員にお伺いしたいのですが、ハローワークでも色々やっていらっしゃると思うのですが、これだけの人に働きかけて、その中で就労に繋がるといった倍率のようなものは一般的にどうでしょうか。もちろん全員が就職・就労に繋がることはないですね。実際、どうしてもある程度の幅広い人に声をかけていかざるを得ないような気もしてのですが、具体の数字を上げていただいておりますが、その辺りで何かハローワークではお持ちですか。

●委員

ハローワークが持っている数字としましては、ハローワーク徳山の紹介で就職される方はだいたい月に150人ぐらいがずっと続いている状況です。150人ぐらい月に就職が決まるというように考えていただければ、そんなに間違いじゃないのかなと考えておりまして、求職者がいらっしゃって情報を見られる色々な情報、当然、周南シゴト動画を見られるであつたりとか、ハローワーク求人を見られるとかもあると思いますが。その中で、ハローワークの方から応募したいというお申し出をいただいてハローワークから紹介させていただくときの紹介成功率でいうとだいたい3割から4割ぐらいという統計を持っております。

◎会長

ありがとうございます。やはり、どうしてもこういったものは、観た方が全員就労することはもちろんなくて、ある程度広い人に声をかけ、どこに適した方がいるか分からないので、広く声をかけていかざるを得ないのかなと思っていて、そうすると、倍率的な部分は低くなってしまふかもしれない一方で、やっていたことで就労に繋がっているのだと思うので。

今後の評価を考えたときに難しいなということを思い、ハローワークで何かお持ちかなと思ってお聞きしました。ありがとうございました。

はい。その他いかがですか。

○副会長

ここにある内容とは違いますが、今後の見通しとして。今、日本人に限っている形ですね、若者の定着だとか。おそらく人口減少になってくると、外国人労働者といったところで、今、ビジネス学校とか多くの留学生の方がいらっしゃるのですが、外国人に向けた働きかけというのは、今後されるご予定があるのでしょうか。

◇担当課

はい、お答えいたします。現時点での予定・計画はございませんが、今の人口減少等を踏まえ、今後、外国人労働者の活用等は検討していかないといけないと思っております。

○副会長

ありがとうございました。高専でも留学生さんがいらっしゃいますし、学びたいというような就労者。そして働きたいという方がたくさんいらっしゃると思いますので、そういった受皿としても、コンビナートとかありますし、何か周南市の強みが発揮できるような外国人に向けたプログラム等、思案していかれたらよろしいのかなと思いました。

◎会長

はい。ありがとうございます。その辺りの外国人の方も含めた部分は、多分、次期の総合計画の中で少し考えないといけない部分もある。ここで考えるか他のところで考えるのか分かりませんが、必要に思います。

はい。貴重なご意見だったと思います。どうもありがとうございます。

では、こちらについては以上とさせていただきます。ありがとうございました。

◎会長 ここから基本目標２に入ります。資料の１４ページ目をご覧ください。
「基本目標２　子育てに寄り添い、次代を担う人材を育むまちづくり」の中
の「推進施策（１）結婚、妊娠・出産・子育てに関する支援の促進」につき
まして、事務局からご説明をお願いいたします。

◇事務局 ～基本目標２・推進施策（１）について説明～

はい。ありがとうございます。こちら５件のご意見・ご質問をいただい
ております。１つ目については、本市独自の魅力競争力というところにつ
いてのご意見かと思います。そこに関して本市独自の施策ということで、ご
回答いただいていると思います。２つ目は、今、色々、各市でこういった子
育て支援策、すごく拡充されていると思うのですが、その中でもなかなか出
生率の低下という話があっても難しい面もあると思います。とはいえ、やは
り必要なことだと思うので、というようなことを私が書いたと思います。そ
れから、３つ目については不妊不育症治療に関しての助成制度と拡充に関す
るご意見、４つ目につきましては、子ども食堂の数などのデータということ
で、そこについて、２０ヶ所というようなご回答をいただいていると思いま
す。最後は、産婦人科についてのご意見で、現状、市としての実態とそれ
に対しての市の取組をご回答いただいているかと思います。こちらにつきま
して、何かご意見等ございましたらお願いいたします。

個々のいただいたご意見については、かなりご丁寧に現状などをご説明い
ただいているかと思います。私も色々書いたのですが、なかなか出生率の低
下とかがあって、周南市に限らず、各市頑張っていらっしゃいますが、なか
なか結果に結びついてない部分もあると思います。

意見であがっているものは、いずれも必要だと思います。不妊治療等のと
ころも大事だと思いますし、子ども食堂とかも大事だと思いますし、産婦人
科の話もそうだと思うのですが、それぞれの市の方でいろいろ施策を進めて
いらっしゃる、問題意識を持って施策を進めていらっしゃるということなの
で、そちらについてはそういった形で進めていただきたいと思います。

多分、乳児家庭全戸訪問割合については、ほぼ達成できているのだと思う
ので、もちろん、これを続けていくこともありますが、次期のＫＰＩは、お
そらく別のものを考えていく必要があるのだと思います。では、こちらにつ
いては以上とさせていただきます。どうもありがとうございました。

◎会長 それでは１６ページですね、「推進施策（２）豊かな心を育む幼児教育・
保育サービスの提供」ということでこちらをお願いいたします。

◇事務局 ～基本目標２・推進施策（２）について説明～

◎会長 はい、どうもありがとうございました。こちらに関してはご意見が４件。
保育士の人材確保に関するご意見、それから２つ目は私だったと思います。

3つ目は、引き続き、継続的効果的に取組をされたいということで、4つ目は放課後児童クラブに関するご意見ということで、こちらにつきまして、ご意見いかがでしょうか。

ちょっと伺いできればと思うんですが、1つ目で保育士の人材確保ということが書かれているわけですが、そもそもの状況として、例えば、周南市におかれて保育士の過不足はどういった状況にあるのかというのをもしよろしければご回答いただければと思います。

◇担当課 はい。ありがとうございます。今、なかなか保育士自体が足りない現状はございます。乳幼児何人に対して1人という各年齢層に応じて割り当てがありますが、特に今乳児のところが非常に需要が高い現状にあります。3名につき1人の保育士がつかないといった状況もございますので、かなり保育士もハローワークで募集しているのですが、なかなかや保育士の応募がすぐにならないというのが現状でございます。

◎会長 はい。ありがとうございます。そういった状況があるようであれば、今回いただいたご意見も重要なご意見なのかなと思うので、今後、次期計画やそのときのK P I策定の中で考えていくとか。例えば運転士とか教員とか既に色々な分野でそうだと思いますし、それぞれの分野で人材確保の努力がされていると思うのですが、いくら公共サービスを充実させようと思っても人がいなかったらできないので、その辺りがこの分野に限らないかもしれませんが、次期計画の中で考えていかないといけないのかもしれないことを感じました。ありがとうございます。

その他、いかがでしょうか。はい。お願いいたします。

●委員 はい。全項目にも繋がりますが、K P Iが今回も研修会の参加率であったり、その前の部分は全戸訪問ということでだいたいできてましたということになっています。もちろん、これさえもできなければ次はないわけで、大事なことで継続的にやって行くべきだと思うんですけど、次期においては、これができた、ほぼできたという前提で、次は何をするのかということがどうしても大事になってくるかと思います。前の結婚・妊娠・出産のところは、市の考え方として「本市独自の」という言葉は数カ所。言葉があればいいわけではないですが、そういった面が見られた。やはり、継続的ということは大事ですけど、今、本市に求められているのは、独自性や魅力もあって安心できる施策、これがやっぱり求められてるんじゃないかなと思うんですね。またそれが広がれば、周南市が何かやってるよというような、訳はわからんけど何かやっている、あれとかこれとかやってるよ。というようなことになれば、地域間競争にも勝っていけるのではないかなと思います。言葉で言ってますけど、具体的に何なのかというのは本当に難しいとは思いますが、

1つでも2つでも次はそういったことが求められるんじゃないかなと思っています。以上です。

◎会長 はい。ありがとうございます。周南市独自の姿勢というか取組があると良いのではないかとのご意見、次期計画の中でお考えいただければと思います。ありがとうございます。

 その他はよろしいでしょうか。はい。お願いいたします。

○副会長 はい。この放課後児童クラブのところで「充実」という言葉があるのですが、利用者の方が一番求められていることはどういったことなのでしょう。

◇担当課 ありがとうございます。利用者のニーズ把握というところで、まずは利用希望が増えていращやるところがありますので、希望されて、保育を必要とされる方が児童クラブに入れるというところが、まず1点大きなところだと思います。その他については、5年に一度になりますが、ニーズ調査を子ども子育て支援事業計画の関係で調査しておりますので、そのあたりの希望というところも踏まえながらご意見としていただいたところについても考えていきたいと思っております。

○副会長 具体的にこういうニーズが一番多いというものが、分かるのであれば。

◇担当課 まずは、本当にクラブによっては先ほどの保育士不足というところもありますので希望されるクラブに入れれないという場合もありますのでそこがまず1点、とても大きなところではないかと思っております。その他につきましては、ちょっと聞いている項目とかで申し上げますと、時間であったり土曜日とか日曜日とかの利用希望であったりというところも聞いておりますし、クラブの質の部分、対応等も聞いておりますので、そのあたりの結果が今から出てくるところで、次期計画で考えていきたいと思っております。

○副会長 はい。多分どこの市でも難しくてできていないことがたくさんあるかと思いますが、逆に言えば、そういった希望者をまんべんなく受け入れられるのであったりとか、時間についても都合がつくということになれば、女性が働きながらとかは、単に子どもの満足以外にもそれを支援するご家庭に対しても大きなアピールになるのではないかと思います。おそらく、これからずっと、生涯働いていくっていったような世の中になるかと思っておりますので、保育士の方もこれは免許がないとできないものなのではないでしょうか。

◇担当課 はい。児童クラブの職員のうち、支援員という職員につきましては、保育士であったり、教員免許であったり、あと実務経験が長い職員であって更に国が認定する研修を受けたものという要件がございますが、支援員をサポートする補助員という職員も必要になってまいりますので、その補助員につきましては特に資格要件がございますので、そういったところで広く募集はしているところです。

- 副会長 最近、自治会に参加してしまして、くすぶっているご高齢の方とかがたくさんいらっしゃる。まだまだ活躍の場所がたくさんあるあるかなと思いますので、みんなが豊かに働けるような、最終的にみんなが WIN になるような計画とかがあると、女性の方も働きやすく周南市はこどもまんなかとおっしゃっていますので、そういったところを繋げて、こういったところに繋げていくのがいいんじゃないかなというふうに思いました。以上です。
- ◎会長 はい。ありがとうございます。それではこちら以上とさせていただきます。どうもありがとうございました。
- ◎会長 それでは 18 ページですね、「推進施策（3）生き抜く力を育む教育の充実」ということでこちらをお願いいたします。
- ◇事務局 ～基本目標 2・推進施策（3）について説明～
- ◎会長 はい。ありがとうございます。こちらについては 4 件のご意見が出ています。1 つが GIGA スクール関係。それから 2 つ目のトイレの洋式化に関して、3 つ目は不登校引きこもり対策ということ。4 つ目は、ある程度 K P I は達成されてきているところがあるので、次期の K P I は別途考える必要があるというところ。内容的には主に 3 つのご意見かと思います。それ以外も含めて何かございましたらお願いいたします。
- ◎会長 いかかでしょうか。各項目について具体的にご回答いただいていると思います。1 つ目のところで、GIGA スクールというか I C T の話は私は周南市在住ではありませんけれども、ここ数年子どもが学校に通っている中で、公立校でもかなりこういったタブレット配布がされていて、結構、学校教育の中で活用されているなと思っていますので、おそらく周南市でも活用されているのだと思います。子どもは結構慣れるのが早いので、先生方もおそらく子どもがどのように使っているというところは先生方の方でもある程度ご対応いただいているのだと思うんですが、実態としても、教育での活用というのはされているように個人的には感じております。もちろん、より活用されるような形というのは、目指していただければと思います。
- 他にご意見よろしいでしょうか。では、こちらは以上とさせていただきます。ありがとうございます。これで基本目標の 2 までは終了致しました。
- ◎会長 ここから基本目標 3 に入ります。資料の 20 ページ目をご覧ください。
- 「基本目標 3 若者・女性が魅力を感じ、つながりが生まれるまちづくり」の中の「推進施策（1）関係人口の創出拡大」につきまして、事務局からご説明をお願いいたします。
- ◇事務局 ～基本目標 3・推進施策（1）について説明～
- ◎会長 こちら関係人口に関しては 2 件ご意見をいただいている、1 つは他地域にない起爆剤的なイベントも織り交ぜていただきたいというお話。2 つ目につ

いては、昨年指摘のあったまちなかの魅力発信についてということで、体験型の返礼品ということで、前回、周辺部だけじゃなくて、中心部の方もというお話だったと思うのですが、そこに関して工場夜景や動物園などの体験メニューを加えたというような形で取組をされているということでございます。こちらにつきまして、ご意見等ございますでしょうか。

◎会長 こちらは基本目標3は関係人口ですけど、後ほど移住というかUJI ターンのお話も関係してくると思いますけれども、重要な施策かと思います。

よろしいでしょうか。では、以上とさせていただきます。ありがとうございました。

◎会長 それでは22ページですね、「推進施策（2）起業・創業支援の推進」ということでこちらをお願いいたします。

◇事務局 ～基本目標2・推進施策（2）について説明～

◎会長 はい、こちらはちょっと再掲になっている取り組みも多いですが、ご意見は4件出ています。1つ目は、引き続き創業機運助成事業に協力していきたいという話、それから事業承継に関するご意見ですね。それから2つ目は、新規に創業した方が、その後、事業継続しているかということについては、伴走支援を行う中で状況を確認していますということ。3つ目については、次期計画の中でということかもしれませんが、農業と水産業の辺りの項目立ての整理は考えていかないといけないのかなと思います。4つ目は効果の実感できる目標設定と、それが実現できる施策を検討されたいということでございました。こちらにつきましてご意見等いかがでしょうか。

はい。お願いいたします。

○副会長 はい。ここにはないですが、最近、学生・高校生と話をする中で、若年層の起業だったり、明確な目的を持って中学校から高校、高専に入ってくる子が増えた印象があります。創業支援など、徳山商工だったり高校・高専や周南公立大学だけ対象とされていますけど、ちょっと早い小学校とか中学校、それこそICTでiPadとかそういったものがあるので、小学生は早いかもしれないですけど、中学生ぐらいからそういった創業等の支援を推進というのは考えられているのかどうか。

◇担当課 今、委員の言われました中学生、若年層向けの創業ということで、今年度、岐陽中学校の1年生を対象に総合的な学習の中で創業の授業を行いたいということで今依頼を受けております。今年度の創業支援協議会で今から総会の中で諮っていくのですが、協議会で協力していこうという話が進んでいる状況でございます。以上です。

○副会長 はい。岐陽中学校の中で、デザインの授業だったりロゴをつくったりとかしていて、非常に中学生のレベルが上がってくると、必然的に高校であった

り高専も含めて、底上げができるかなと思ったので、ぜひ中学生達は色々な可能性があるので、そういう機会を作っていただけたら嬉しいなと思います。

◎会長 はい。ご意見ありがとうございます。そういう機運は、本当に最近の学生は前とは違うというのは自分も持っています。そういったところをまちの活性化にうまく繋げたいということだと思います。

その他、ございますか。よろしいでしょうか。では、こちらは以上とさせていただきます。どうもありがとうございました。

◎会長 それでは24ページですね、「推進施策（3）UJI ターンの促進」ということでこちらをお願いいたします。

◇事務局 ～基本目標2・推進施策（3）について説明～

◎会長 はい。こちらはご意見が4件あります。1つ目はよろしいですね。2つ目については、中山間の移住だけでなく、魅力ある職場の増加、就業者支援、住み良いまちづくりのための施策が必要ということで他地域に負けない魅力と競争力のある取組を検討されたいというところですね。これについては、おそらくKPIの話もかかわると思いますが、UJI であると、中山間に限定しないような指標も今後考えて良いのかなというような気がします。3つ目については、届けたい層にメッセージが届いているのかということについて、SNSなども活用していますというようなお話をご回答いただいていると思います。4つ目は、昨今報道があったところですね。こちらについて、移住してきた方々の定着状況は調査できているのでしょうかということについては、そこまでの把握は難しいというコメントかと思いますが、ご回答をいただいております。こちらにつきましてご質問ご意見等ありますでしょうか。

はい。お願いいたします。

●委員 はい。意見に対する市の考え方のところの一番上のところですが、「本市への移住とかかわる施策の充実に向け、部署を越えて全庁的な視点で検討する会議を立ち上げ」とありますが、具体的にどのような会議でしょうか。

◇担当課 今月立ち上げたものになりますが、会長が市長、副会長が副市長となります。また、庁内部署の部長が会員となっている組織となります。

●委員 ありがとうございました。私はこの会議に何回も出席させていただいて、そういうものが欲しいなということを空回りのように1人で言っていたので、今回このようなことが具体的に始まったということで、とても嬉しいなと思っています。できれば協力をしていきたいなと思います。

◎会長 はい。ありがとうございました。その他いかがでしょうか。

こちらの事前の4つ目のご質問ですね。ご回答としては、なかなか追跡が難しいという意味ですから、一言で言うと、無記名アンケートなので1年後、5年後と追跡が難しいということですかね。一言で言いますと。

◇担当課 おっしゃられるとおりで、アンケート自体が無記名でお答えいただいているものになりますので、1年後、5年後にどのようなになっているかというところまでは、把握できないということでございます。

◎会長 はい、ありがとうございます。今のお話でちょっと思いつきみたいなことで申し訳ないのですが、例えば、市政モニターみたいなものをやる自治体がありますよね。もちろん同意してもらえた方じゃないといけないですが、転入者の方で、継続的な意見聴取を受け入れてくれる方がいたら、そういう方から継続的にご意見を聞いて、例えばこういう思いで来て、こういうところは満足だったけどこういうところはちょっと期待していたのと違ったとかあると思うのですが、そういったご意見を継続的に聞くような仕組みとかあってもいいのかなと感じました。

やはり、ここでご質問のある定着状況って結構気になるところであって、ただ、なかなか個人を追跡するのは難しいのもよく分かるので、ご協力いただける方に限定だと思いますが、そういったこともあっても良いのかなと感じました。はい。その他よろしいでしょうか。

はい。では以上とさせていただきます。どうもありがとうございました。

◎会長 それでは26ページですね、「推進施策（4）高等教育機関等との連携」ということでこちらをお願いいたします。

◇事務局 ～基本目標2・推進施策（4）について説明～

◎会長 こちらについて、1つ目は、就職に関することで、周南市の地元企業説明会を周南公立大学で開催してはどうかというところに関して、1年生を対象とした企業交流会などが行われていますというお話です。2つ目は、在学時から地元企業の社会との交流の機会を増やして魅力を伝えるというような取組を考えていただきたいというところで、そこに関しては周南公立大学の取り組みだとか、あと徳山高専も含めて地域を知ってもらうための取組を検討してまいりたい、3つ目が、高等教育機関との連携交流を期待するということでそこに関して具体的な話を紹介ということで、こちらにつきましてご意見等いかがでしょうか。

◎会長 K P I の指標としては、市内高等教育機関を卒業された方の市の就職率ということで、概ね1割強ぐらいのところ推移していてなかなかももとの目標で掲げているような推移にはなっていない現状があらうかと思います。

周南公立大学さんは、やっぱり公立化後もいろんな地元と接点を増やしていくような取組を精力的にやっっていらっしゃると思ってます。そのような機

会をつくる努力をすごくやってらっしゃると思ってます。ただ、下の方で書いてあることも関係するのですが、公立化に伴って、ある程度、県外の方が増えていると思うので、地元の就職に結びつけるのは結構ハードル高いのだろうと思っています。だから、その部分は、ある程度予想されたところで、そこが実際に現実化していると思っています。

まだ、公立化後に入られた方はまだ卒業されていないんですか。

◇担当課 はい。公立化したのが令和4年ですから、その時に入学した学生が3年生になっています。現在の4年生が最後の徳山大学時代の学生です。

◎会長 はい。わかりました。色々すごくご努力はされていると思っているので、個人的には、公立大学さんは成果というのはある意味ちょっと今後なのかなというようなことも思っております。

その他何か。皆様の方で、ご意見等ありますでしょうか。

○副会長 はい。企業交流会についてですが、周南市というところで、実は徳山高専の方にあまり情報が私のところだけかもしれないですけど届いてなくて、今回新しいウェルビーイングのセンターができたりだとか、公立大学の先生方も非常に頑張っていらっしゃるので、高専・公立大学とかつていう枠組みをとっぱらって、商工であったりとか。

要は商工から公立大学へ、新南陽高校であったりとか、高校生も巻き込んで、よくあるスーツを着た就活イベントみたいなものではなくて、もっと公立大学であったりとか周南市にこんな素敵企業があるよというのを高校ぐらいからできるようなイベントをやっていただけると地元に残りたいなって思ってくれるような子たちの背中を押すような一手になるのではないかなと思いました。よくある企業展とかではなくて、もっと公立大学もアピールするような意味で、「周南市ちょっと違うことやってるね」って思われるようなイベントがあれば、ぜひ高専の学生も連れて一緒に行きたいなと思いました。感想です。以上です。

◇担当課 はい。ありがとうございます。今、良いご意見いただいたと思っていて、どうしても高等教育機関であるので、高専であるとか大学という視点で見ていましたが、確かに大事なのは地元の若者の定着でございますから、高校を卒業して地元就職する生徒もいるわけで、その辺の視点を忘れないように商工振興課とよく連携をとって事業を考えてまいりたいと思います。ありがとうございます。

◎会長 はい。ありがとうございます。あと大学生の就職みたいなことというと、私も一応大学にいて思うのが、全国規模の大手企業さん、本当に動きが早くて、インターンはどんどん早期化しているし、インターンが実質採用活動化しているし、なかなか地元企業さんとかそういうのに、遅れてしまうところ

はあるんだろうなと思うので、大学の協力もいると思いますが、大手さんがかなり早く動いているというところを踏まえながらやっていかれると良いのではと思います。では、こちらは以上とさせていただきます。ありがとうございました。

◎会長 ここから基本目標４に入ります。資料の２８ページ目をご覧ください。
「基本目標４ 強みを活かし、賑わいあふれるまちづくり」の中の「推進施策（１）中心市街地における賑わいの創出」につきまして、事務局からご説明をお願いいたします。

◇事務局 ～基本目標４・推進施策（１）について説明～

はい。ご意見としては４件ありまして、ＫＰＩの指標について、中心市街地で行われるのであれば、歩行者通行量以外も考えても良いのではないかという話だと思います。そちらについては、ある程度継続的に把握はしていますという話ですね。２つ目は、賑わい交流施設、駅前再開発に続く地域の付加価値を高める切れ目ない継続投資を検討されたいということで、こちらについても、具体的に動物園のリニューアルや文化小ホール等ということです。３つ目については、再開発施設のオープンに伴って周辺への波及効果についてヒアリング等を行うのかというところについて、現時点では時期尚早と考えるので秋以降に実施したいというお話ですね。４つ目、令和５年度が急に落ちているように見えるのでこちらの理由をちょっとお聞きしたのですが、ちょっとそこは分からないということでありました。

はい。こちらについてご質問ご意見等ありましたら、お願いします。

●委員 中心市街地でイベントやマルシェとかやっている団体がいらっしゃいますが、だいたいいつも同じような団体さんが、慣れていらっしゃってやってらっしゃるのを目にするんですけど、新しい団体さんや、もっといろんな方に積極的に活用してほしいといった働きかけみたいなことはされていらっしゃるのでしょうか。

◇担当課 はい。今、駅前広場等につきましては、令和５年度から、いわゆるＰＰＰ事業により、施設の受付とか管理等を、指定管理者が行っております。その中で、イベントの告知等をＳＮＳなどでご紹介いただいておりますので、その繋がり新しい事業者にもぜひ活用いただきたいと思いますっておりますが、その辺の周知については、まだ不十分かなと感じております。またマルシェについては、結構、流行っているというところもあり、毎週のように色々な所で開催され、集客に苦労しているとお聞きしています。駅前広場は、立地的にも他の施設よりは恵まれたところだと思っておりますので、多くの方に活用いただけるよう、民間事業者とも連携して積極的にＰＲしていきたいと思っております。

●委員

ありがとうございます。

◎会長

その他いかがでしょうか。

すみません、分からないとおっしゃっているところを聞いて申し訳ないですが、観測条件が何か変わったとか、特にそういうわけでもないけど何か減ってしまったのか分かりないでしょうか。

◇担当課

はい。歩行者等通行量調査については、例年11月の平日と休日に各1回ずつ行っており、KPIは平日の数値を採用しています。調査結果が出たときに調査の状況等を確認しましたが、特に気候的に寒かったり天気が悪かったというわけでもなかったため、数値が下がった原因は正直なところ分かりません。結構下がっていますが、実際にまちを歩いても大きく変わったというところも感じられないため、回答書の通りで申し訳ないですが、分からないというところでございます。

◎会長

はい。どうしても人手での計測の限界みたいなところもあるため特定日にやるのだと思いますが、ご回答にもあるように、AIカメラとか自動計測みたいなものを採用した方が、偶然で左右されてしまうとKPI設定している意味がなくなるので。ご回答いただいているようなものも含めて考えていただけるといいかなと思います。ありがとうございます。

その他、何かございますでしょうか。

3つ目で、回遊性が大事ではないかというところで、そこについても色々取り組んでいるという回答がございました。文化小ホールのお話は、私も関わっていると思うのですが、駅前で色々取組をされていて、それがもう少しこっち側の方に回遊性が波及してくると良いのだと思います。そういった中で、文化小ホールもありますし、動物園や文化会館などもあるのかもしれませんが、そういった場所ができると良いと思います。例えば、文化小ホールの議論の中では、用地の隣の公園ですかね。そちらとの一体的な活用とかもできると良いのではないかっていうご意見もあったりとか。そういった中で、この文化小ホールもそうですが、駐車場を含めた交通の問題なんかが多分出てくると思うので、そういったところは総合計画で議論することではないかもしれませんが、今まで投資してきたことが活きるような形になれば良いと思います。

はい。では、よろしいでしょうか。では、こちらは以上とさせていただきます。ありがとうございました。

◎会長

それでは30ページですね、「推進施策（2）観光・交流の推進」ということでこちらをお願いいたします。

◇事務局

～基本目標4・推進施策（2）について説明～

◎会長 はい。ありがとうございます。ご意見としては5件ありまして、1つ目は、コロナ禍が終息した状況がある中で、ちょっと観光客がK P Iとしても伸び悩んでいるように見えます。その辺りで何か施策はということに関して、まず伸びてない理由については、文化施設の来場者数が戻っていないであるとか温泉施設の閉鎖の影響などがあると。そこに対して、具体的な施策等も書いていただいております。2つ目の市内の温泉地を衰退させない取組ということで、拠点整備等を行っている。あるいはP R等も行っているというようなご回答が出ています。3つ目は、どちらかというと周南市は観光よりもスポーツとかコンベンションの方が強みになるのではないかとこのころで、リピートに繋がる取組もやっているということ。4つ目については、日常をときほぐす観光の今後の可能性や方向性はどうかということに関して、あとコンベンション誘致については、受入のキャパシティが主催者とマッチしないことが書かれていて、宿泊施設のオープン等に期待しているという話を書いていただいております。5番目の動物園が令和5年の入園者が減っているということについては、天候不順等の影響があると考えられるということでございます。こちらについて、ご意見はいかがでしょうか。

●委員 すみません、今更なのですが、観光客数のカウントはどのようにされているのでしょうか。

◇担当課 はい観光客数のカウントですが、様々な施設の中には市の施設も含みます。その他、イベントであったり、例えばゴルフ場や温泉といった施設、観光と思われるところ全てに問い合わせを投げかけまして、そちらから回答いただいております。

●委員 施設やイベントへの来場者数ということですね。

◇担当課 施設やイベントへの来場者数を合算しています。

◎会長 例えば文化施設なんかにも市内の方も来ると思うのですが、その辺りは特に分けて集計されているのでしょうか。

◇担当課 はい回答は県内か県外か。元が県の観光動態調査ということでございますので、区分けは二通りになります。

◎会長 具体的に、例えば周南にお住まいで、例えば文化ホールとかに何かを見に来たという方は入っているのでしょうか。

◇担当課 入っています。県内の中に入っているかと思われます。

◎会長 はい。1つ目のご回答の中で、文化施設への来場者数が戻っていないことですが、そもそも、イベント自体、開催数があまり戻っていないということですか。

◇担当課 イベントの開催回数までは追えておりませんで、あくまで来場者数ということで、人数で追っているため、そこまで把握をしておりませんでした。

◎会長 そうですか。はい。その他いかがでしょうか。

あと、4 番ですが、キャパシティのことについてご意見が出ています。これは基本的に宿泊施設が足りないことがあるという意味でしょうか。4 番目に対して回答としていただいているところは、受け入れができないケースがあるという意味でよろしいですか。キャパシティ不足が発生するため、泊まれないのでコンベンションができないということが起こりうるという意味でよろしいですか。

◇担当課 ご質問の意図が、キャパシティが主催者とマッチしないことが多く、というところで、宿泊施設が足りていないということかと思われます。

実際にコンビナートの定期修繕もありまして、10 月秋ごろの予約が現在取れないという声もお伺いしている状態もございます。そうしたところもありまして、今後、宿泊施設のキャパシティ不足というのは、今後も考えられると想定しております。

◎会長 はい。ありがとうございます。こういう定期修繕で宿泊が足りなくなるというのは、周南に限らなくて、宇部でもよく聞きます。山口県内の工業都市では割と問題もあるように聞いています。はい。ありがとうございます。

その他いかがですか。では、こちらは以上とさせていただきます。ありがとうございました。

◎会長 それでは32 ページですね、「推進施策（3）スポーツ交流の推進」ということでこちらをお願いいたします。

◇事務局 ～基本目標4・推進施策（3）について説明～

◎会長 はい、ありがとうございます。こちらは5 件のご意見をいただいでいて、P F I 事業者の掲げる管理運営目標の具体的な説明ということで、そちらについては、市の方からご回答をいただいでいます。2 つ目は、先ほど同様のご意見をいただいたと思いますが、そこに関して私からも確認させていただいたところですが、やはり1 つのネックとして宿泊し、キャパシティというのがあるというお話をご回答いただいでいます。3 つ目は、それぞれの年代に合ったスポーツ大会ということで、そちらについてP F I 事業者も含めて検討していきたい。4 つ目は、K P I としては目標から比べると、随分下になっているように見えるので、そちらについてですけれども、ご回答としては集計の仕方を変えているということでもあります。5 番目は高齢者のスポーツ大会とかもそういったところも力を入れていってはどうかというところと物販も取り組んでいけば良いのではないかなというような意見がありました。先ほどの観光ともかなり関係が深いかなとは思いますが、ご質問ご意見よろしくをお願いいたします。

私の方から4つ目の質問の関係で、この回答より実態に合わせたということかなと理解しました。そうすると、元々の目標値の設定が過大だということになりますか。

◇担当課 はい。元々の考え方が、稼働率調査が部屋ごとといいますか、総合スポーツセンターでいえば、メインアリーナと多目的ホールと2会場あるのですが、そちらに大会の主催者からこの大会では選手が例えば500人、観客200人でしたというのをいただいて、700人をメインアリーナだけでなくメインアリーナが700人、多目的ホールが700人という算定の仕方をこれまでしております。昨年度からPFI事業で19年間の指定管理ということになりましたので、総合戦略の方で言えば、ちょっと中途半端な形にはなるのですが、指定管理の方と話す中で、実情の数値にしようということで、この度、算定の方法を変更させていただきました。

◎会長 実態に合っていた方が良いと思うので、そうすると、この辺りは先ほどの観光客数の話も通じるところがあると思います。実数把握が難しいとは思いますが。評価の前提として、できれば期間で同じ物差しの方が良いので、ちょっと物差しが途中で変わるのはできれば避けたいところです。次回改定の時に、なるべく安定的に使えるような物差しを担当課からもご提案いただければと思います。

ありがとうございます。その他何かございますでしょうか。

◎会長 先ほどお聞きした件をもう1回聞いて申し訳ないのですが、宿泊施設のキャパシティ不足は、なかなか行政として何かできる部分も少ないように思いますが、例えば、できるとすると、コンベンションであれ何であれ、主催側に、混雑状況なるべく早めに伝えるとか情報提供するとかで、予定も考慮して誘致するというのは、ある程度の余裕のある時期に誘致するとかそういったことになりますか。

◇担当課 はい。誘致をする場合には、コンビナート企業から事前に次の年のですね、定修情報をいただいておりますので、そういった状況を勘案しながら誘致を行ってまいります。

◎会長 はい。ありがとうございます。

○副会長 はい。次期のKPI設定になると思うのですが、コンベンションの誘致と文化系のセミナーだったりとかスポーツのなんちゃら大会とかがあると思いますが、そういった数値、開催数なのか稼働率にもかかわってくるかなと思うのですが、そういったものは、KPIにはなり得ないのでしょうか。

◇担当課 ご質問は誘致の数をKPIにということでしょうか。誘致の数をちょっとKPIにするというのは、特に学会とかは2年後3年後の会を誘致したりとい

うことが多くなりますので、そこを評価するというのが一概には難しいと現状では考えます。スポーツに関しましては、スポーツ協会さんであったりとかそういったところが、会場も含めて誘致をされていると思いますので難しいのかなと思います。

○副会長 年度の持ち回りみたいなのところもあるということで、何か新たな大会をここに誘致するというのは、今回陸上競技場だとかP F I もちろんこれは民間も勝ち筋を得て入っているものではないかなと認識するのですが、P F I 事業者が、何か新たな大会であったりだとか、イベントを打つとかというような企画があったりするのでしょうか。

◇担当課 P F I 事業者からも色々ご提案がありますが、今のところ、大きな大会とかではなく、もっと小さい何とか教室とかそういったものを提案うけています。今のところ大きいイベントとなる大会はお聞きしておりません。

○副会長 P F I 事業なので、勝ち筋があると思いますし、市民の方へ一番還元できれば全く問題ないかなと思うのですが、例えばレノファ山口であったり、そういったコントロールできるようなものが定着につながるというのもあるかと思います。そういったところも前向きにオール山口県というところで、活動されてはどうかと思いました。以上です。

◎会長 ちょっと今副会長のご意見を聞いて思ったのですが、ご承知だと思いますけど、去年、宇部がパルクールの大会を誘致したというのがあって、あれはかなり大がかりというか、道路管理者を結構巻き込んで大事だったのですが、確かに関係者も結構大変だったんだと思いますが、やってみると良かったかなという気もするので、まちづくりとの関係で、そういった部分の連携もあるのかなとご意見を聞いていて思いました。ご参考まで。

◇担当課 はい。ありがとうございます。昨年からP F I 事業ということで指定管理者は、新たに変わりましたが、スポーツ協会さんの方が今まで指定管理をやっていた部分がなくなったといえますか、その分スポーツ振興をしっかりとやっていくということはお聞きしていますので、そういう意味で言えば、新たなイベント等が今後提案されてくるものと思っております。

◎会長 ありがとうございます。では、以上とさせていただきます。

◎会長 では、最後の基本目標になります。資料の34ページ目をご覧ください。「基本目標5 時代に対応した持続可能なまちづくり」の中の「推進施策（1）Society5.0の実現に向けたまちづくり」につきまして、事務局からご説明をお願いいたします。

◇事務局 ～基本目標5・推進施策（1）について説明～

◎会長 はい。ありがとうございます。ご意見は3件で、1つ目のK P I 設定について、5年スパンで5年後を見通してK P I を設定するのは難しいのではないかというご意見に関して、市としてはそれなりに可能ではないかと考えているということ。2つ目は、市民がなかなかこれらの成果についても実感しづらいのではないかというところに関して、次期の計画の中ではまた適宜見直していくというお話。3つ目は、これは私が書いたと思います。はい。こちらにつきましてご意見・ご質問等いかがでしょうか。

●委員 今回のスマートシティだけでなく、次にコンパクトシティのことにもつながると思いますが、何を目指しているのかというものが市民に見えているのか、分かっているのか、もっと言えば伝えているのか。スタートのところです。頑張ってる色々やっているけれども、そこがまだ不十分ではないかなと感じています。それがないと、市民感覚でイメージがわいてこないと思うのですが、その辺りはいかがでしょうか。

◇担当課 ありがとうございます。おっしゃる通りですね。デジタル技術というところに関しては、実は皆様の近くに、生活の中にも入ってきているものですが、いざスマートシティという言葉でお伝えしようとする、確かにイメージとしてわきにくいという部分はあるかと思いますので、身近な事例も交えながら、少しの説明できたりとかや、取組に参画していただくような機会を設けるなどしながら、少しずつではありますけれども、実際デジタル技術が暮らしに溶け込んでみ、進んでいるというところを実感していただけるように取り組んでまいりたいと思います。

●委員 はい。そうですね。そうは言っても3年前と今、5年前と今と、一番変わったのはキャッシュレスや決済機能だと思うのですが、まさかそんなことができるのかと思っていたら、1年ぐらいでできてしまったとかいうのがあるので、行政の分野においても、実はもう3年後には様変わりしているかもしれない。そうなった時に、先進的な地域との差がどうしても明白になってくるのではないかと。それイコール効率的な行政運営に繋がってくると思うので、よろしくお願いしたいと思います。

◎会長 はい。ご意見ありがとうございます。この辺りは、1つは、市役所としての業務効率化というのがあり、公務員数を急に増やしたりできず、サービスの多様化が進んでいる中で、なるべく市役所の業務を効率化して、市民の皆様の求めるサービスに職員が当たれるようにするという部分のスマート化というところと、市民サービスの部分で色々電子申請等ができ、進んでくるといったスマート化と両面あると思っていて、前者の方は、目に見えないところがあるのかなと思います。ただ、やっぱり業務改善も含めて全て大事なところだと思うので、その辺りは、進めていかないといけないと思い

ます。なかなかK P I も 5 年ごとに变えていかないといけないようなものになってくると思いますが、こういったものも今回の結果を踏まえて次の計画の中でどういったK P I が良いかというのはご検討いただければと思います。ありがとうございました。

その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

一番下を書いたのは私ですが、先ほど書かれているように、色々、内製化しやすくなっているなどというのは思っていて、大学でも結構学生が色々作ってくれます。だから、そういったことが、おそらくこれからの市役所でも求められてくるのだろーと思っていて、スマートシティ推進課でされているのかもしれませんが、そういった部分の人材の厚みみたいな部分は若手の職員の方に研修していくとかが大事なのかなと感じました。

はい。よろしいでしょうか。では、以上とさせていただきます。ありがとうございました。

◎会長 それでは 36 ページですね、「推進施策（2）コンパクト・プラス・ネットワークの推進」ということでこちらをお願いいたします。

◇事務局 ～基本目標 5・推進施策（2）について説明～

◎会長 ご意見は 3 件です。1 つ目は、主にコンパクトシティに関する意見で、こちらについては、立地適正化計画等を見直していく等で進めていくというようなご回答です。それから 2 つ目は、公共交通の担い手確保のお話で、こちらについても、県レベルでもいろいろやられていますが、こういったことのご回答いただいています。3 つ目は、空き家のお話で、今後はむしろ都市部、中心部の方が問題になってくるのではないかとということで、空き家対策に関するご回答をいただいているということです。こちらについてご質問ご意見いかがでしょう。

お聞きできればと思うのですが、周南市におかれては、今、立地適正化計画の改定の作業をしていらっしゃるということでよろしいですか。例えば具体的にどういった部分を改定していられるのでしょうか。

◇担当課 今、周南市では、居住促進区域の設定から 5 年経過したということで、立地適正化計画の見直しを実施しております。その中で、水防法の改正であったり、都市再生特別措置法の改正がございまして、その中で防災指針の位置付けを求められておりますので、それをメインに改定作業を進めています。

◎会長 防災指針のところですか。はい。

◇担当課 主には防災指針のところの改定がメインになっております。

◎会長 はい。ありがとうございます。その他いかがですか。

交通に関しては、私が話し出すと長くなってしまうのですが、書かれているように、県がわりと取組を始められていて、ご承知だと思いますけど、県としても業者さんを使ったりとかやられていますけど、お聞きできればと思ったのは、県内ですと県央7市町とかで、合同で説明会をやられていて、市単体だと限界があるかなというのを結構感じているところです。例えば周南市さんとしては、県はもちろんだと思いますが、周辺市と協力されたりしていないでしょうか。

◇担当課 それは、担い手の確保ということでしょうか。

◎会長 担い手確保ですね。はい。

◇担当課 例えばバスの支援でいうと、市をまたいだ路線がありますので、そういったところは連携して取り組んだり、昨年も光市さんでJRバスさんが撤退されたところで協力して新しい路線と代わる路線を導入したというところはあります。一方で、今言われた、担い手不足のことで連携して、具体的に取り組んでいるものは今のところないです。先生もご存じと思いますが、広域なことなので、できれば県のレベルでやっていただいて、そこに乗るのがやりやすいなとは感じています。

◎会長 そもそもバス会社が市で閉じてないので。この辺りは防長交通さんなので、なかなか市単位というよりは、もう少し広域でやっていかないといけないかなと。お聞きしたのは、もちろん県もやっていただかないといけないですが、山口・宇部・小野田のあたりが一緒に説明会とかをやっているの、そこにタクシー会社も入ったりしているので、そういったことでお聞きしました。ありがとうございます。はい。その他よろしいでしょうか。

こちら、先ほど立地適正化計画の見直しの話がありましたけど、なかなか他市におかれても、居住誘導区域の人口目標とか維持が難しいような現状があると思います。先ほどのUJI ターン施策などと合わせて目標達成を目指していただければと。また今後、おそらく立地適正化計画の改定に合わせてこちらのKPIはどういった形がいいかというようなところもご検討いただければと思います。以上とさせていただきます。ありがとうございました。

◎会長 それでは38ページですね、「推進施策（3）中山間地域の持続可能な生活圏づくり」ということでこちらをお願いいたします。

◇事務局 ～基本目標5・推進施策（3）について説明～

◎会長 こちらに関してご意見は5件ありまして、1つは、小さな拠点づくりについて、3つが目標になっていますけど、3つ目はどうですかということで、これについては、ある程度念頭にあるということなのかなと思いました。あと、2つ目は、ここに掲げているような地域も人口減少が進んでいると思い

ます。しかし、対策はどうかというところで、ここに関しては、もちろん中山間地域に限ったことではないので、そういったところも取組を進めていきますという話。3つ目は、そういったところも考えていけないといけないのではないかというところに関してもご回答はいただいて、3つ目のところは、ある意味、このまち・ひと・しごとの根幹にもかかわるようなところかもしれませんが重要なご指摘だと思います。4つ目は、総花的な施策ではなくて本市になくてはならない取組に特化すべきというようなご意見です。5つ目は、交通に関するご意見をいただいております。こちらの項目についてご意見いかがでしょうか。

◎会長 そうですね。3つ目のご意見ですが、行政としてはすごく回答しづらいように思いますが、例えば、かなり小規模な集落とかそういうところを念頭におかれているのかなと自分は受けとめました。ただ、今お住まいの方に対してもやっぱりサービスは考えていけないといけないけれども、やはり先行きを考えると、なかなか難しいかもしれないところ。そういうことを念頭におかれていると思いますが、お答えが難しいと思います。いかがですかとお聞きしても難しいかもしれませんが、いかがですか。

◇担当課 こちら、市の考えに書いてあります通りではございますけれども、そういった身近な生活サービスの維持ということであったり、新たな担い手づくり、コンパクト・プラス・ネットワークの推進などの取組をこれまでも続けてまいりましたし、これからも続けていけないと考えております。こういった取組を続けていく、身近な生活サービスが小学校区では難しいということであれば、例えば公共交通であったり交通結節点であったりといったところまでですね。交通を確保して少しでもそういった都市拠点までの足を確保して、そこで暮らし続けられるという施策も目指しているところでございます。以上でございます。

◎会長 はい。すいません。お聞きして。行政として、3番はすごく重い間いだと思いますが、今はやはりそういうところも、投げかけとしてはやはり必要なのかと思いました。

あと、2番でも書かれていますが、いわゆる中山間地域以外のところも、そもそも全人口が減っているわけなので、だんだん小さくなってくるとか、先ほど空き家の話がコンパクトのところでありましたが、かつての郊外住宅地みたいなところの高齢化とか色々なところでこういう問題が出てくると思うのですが。

もちろん、人口の維持を目指していくのですが、とはいえ、ある程度の人口減少は避けられないところがあるので、その辺りの中でどのようにやっていくかというのは、おそらく次の総合計画でも、どうしてもこの3番で書か

れているように、目を背けがちですけれども、直視していかないといけないのかなということをご意見を見ていて感じました。

その他、何かご意見ございますでしょうか。はい。お願いします。

●委員

はい。会長がおっしゃったことにとっても賛成します。3番の意見をとっても本当に重要だなとか、ここからスタートしないとこの会議自体がぼやけてくるのではないかなと思っています。例えば、市街地でも徳山駅周辺と新南陽駅周辺に集約しようじゃないか。北部地域は須々万にしようじゃないかと言っているのは分かるのですが、市民がどれだけ分かっているか。自分自身も含めて。というところだと思います。何かそんな風になる、しないといけないよね、もうそうしかできないよねっていう思いはありながら、言葉悪いですけど先延ばしで今までできていると思います。今までそれができていた。しかし、これだけ人口減少が進む中で、本当に今までの10年は5年かもしれません。5年は2年かもしれない。という動きの中で、冷たい面もあるかもしれませんが。本当に行政としては言いにくい面はあると思うのですが、だからこそうこういった会があるんだ、意見交換会があるんだと思うので。こういうことから、全てをなくすというところからスタートするのも間違いですけれども、現実、そういう大きな波が来ているということで物事を考えていかないと、次の計画は、また、表面的になってしまうのではないかなというように思っています。以上です。

◎会長

はい。ありがとうございます。そのあたりも含めて、最後に総括的な議論をした方がよいのかなと思うので、最後に委員の皆様からご意見いただく時間も設ければと思います。では、こちら以上とさせていただきます。ありがとうございます。

◎会長

それでは40ページですね、「推進施策（4）多様な主体による地域づくりの推進」ということでこちらをお願いいたします。

◇事務局

～基本目標5・推進施策（4）について説明～

◎会長

ご意見としては5件ありまして、夢プランについて、策定後の動きが見えないように見えるというところに関して、ご回答いただいています。2つ目は、高齢化で自治会活動が困難な地区の対策ということで、そちら市としての取組、3つ目は、若者が地元に戻ってくるような取組というところに関して、関係人口としてとらえていきたいというご回答。4つ目は低コストで継続的に取り組めるような施策を検討されたいということでありまして。最後は文化小ホールとか地域コミュニティを繋げる核となってくれたらということ、そういったところについてもご回答をいただいているところです。

こちらにつきまして、ご意見いかがでしょうか。

こちらは、ここまでのある意味内容が集約されているようなところもあると思うのですが、2番目のご意見いただいているような自治会活動やコミュニティの高齢化の話は本当に市とか担い手不足とかそういう話は周南に限らず各地で起こっていることだと思います。その辺りの話は、先ほどの議論ともかかわる話かなと思っています。その他、皆様よろしいでしょうか。

よろしいですか。では、こちらは以上とさせていただきます。ありがとうございました。

◎会長

これで全ての施策の評価が終わりました。ほぼ予定時刻ですが、もしかすると駆け足で委員の皆様も、意見が言えずに終わってしまったということがあったかもしれません。全体を通じて、何かご意見等があれば総括的なご意見でも結構ですが。何かあれば。

よろしいですか。私から数点申し上げたいと思います。

1つは、K P I 指標は基本的に公共サービスを拡充していくという方向で、以前に比べてサービスが良くなっていたという形で評価するのが一般的だと思います。それは必要だと思いますが、今回も色々なところで、保育士不足の話とか、市役所に限らず、自治会の高齢化みたいな話も含めてこれからの5年、そもそも、この公共サービスの担い手が本当に確保できていけるのかというところがあると思います。やはり、担い手がいないとサービスの拡充とか絵に描いた餅になってしまいますし、むしろ今のサービス水準を維持するだけで精一杯かもしれないと、供給側の制約というか、その部分も今後は考えていかないと人口減少の中できついのかなというのは思うところです。

あと、色々なところで終い方といったご意見もあったと思います。例えば、地域は違いますけど、美祢線が、昨年、災害で止まって、その関係のワーキングに私も入って色々な議論を聞いていて思うところですが、選択的な投資を考えていかないといけなくなっていて、リソースがすごく限られている中で、どこに投資していくのがまちが生き残るために一番大事なのかというところを考えないといけないなということを思っています。そのような部分で、どこかの総花的な話ではなくてというのがありましたが、どうしても、このような話では総花的になる部分が否めないと思うのですが、これからの5年は厳しい5年になるのかなと思うところがあって、そういう中で、まちが活力を維持して生き残っていくために何が必要かというところを考えていかないといけないかなと思います。事務局への意見というよりは、私自身も次の計画の議論に関わっていくので、そういうことも意識していかないといけないなと本日感じた次第です。はい。皆さんの方がよろしいですか。

はい。では、これで議事としては全て終了しております。1回目が書面会議で今日が2回目ということになっていますが、1回目の書面会議と今日の会議の意見につきましては、事務局の方で整理いただけるということで、後日、我々にいただけるということですので、発言内容の齟齬などがあれば事務局にお知らせください。最終的には、議事録とあわせて内容の確認につきましては、私と副会長の方で責任を持つということでご一任いただいてもよろしいでしょうか。

はい。ありがとうございます。ではその他、何かよろしいでしょうか。

では、進行は事務局にお返しいたします。ありがとうございました。

6 閉会

◇事務局 (企画部長あいさつ)

◇事務局 以上をもちまして、令和6年度第2回周南市総合戦略会議を終了いたします。委員の皆様、長時間お疲れ様でした。ありがとうございました。